

「急変だ!」と
思ってから対応までの
観察・思考過程を
マップで解説!

「どうしよう?」の “次”がわかる 急変対応



【執筆】石川智也 いしかわ・ともや
藤枝市立総合病院 クリティカルケア認定看護師

2008年藤枝市立総合病院就職。外科病棟勤務を経て、ICU勤務。2016年に集中ケア認定看護師認定、2022年に特定行為研修を修了。現在はクリティカルケア認定看護師へ資格を移行し、ICUを中心にCCOTとして組織横断的に活動を行っている。

RRSの対応チームの
思考をのぞきこむ!

RRS=rapid response system
(院内迅速対応システム)

CONTENTS

PART1 「院内迅速対応システム」って何ですか？ p.28

PART2 急変予防のために注意しておくべきこと p.31

PART3 急変対応要請があった際、何を考える？ p.34

PART4 事例から、「急変でできる対応」を考えよう p.36

- 事例① 右膝蓋骨開放骨折・第7頸椎棘突起骨折の患者さん
- 事例② 下咽頭がんの患者さん
- 事例③ 急性膵炎の患者さん
- 事例④ 右被殻出血の患者さん
- 事例⑤ 亜急性心筋梗塞の患者さん

PART 4では、RRSの対応チームに「急変」要請があったときに
「何を考えて」「何を観察して」「どう判断したか」
をフローに沿って紹介します。
ぜひ「自分だったらどう判断するか」を考えながら読み進めてみてください。
また事例から、
おさえておきたい疾患の特徴や、注意すべきポイントも解説しています。

